

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

伊豆で育つ日本古来からの香料植物を利用した商品群の開発・販売と地域振興

伊豆戸田地域で育つ「タチバナ」等の香料植物(和ハーブ)を利用した、和ハーブティーや和ハーブ雑貨等の製造・販売を行う。

➤ 連携体

農林漁業者 **戸田森林組合 (森林組合)**

安定生産および栽培・一次加工の管理ノウハウを確立し、香料植物＝“和ハーブ”ブランドによる地域振興につなげる。

中小企業者 **(株)ルーシーダットン (スポーツ・健康教授業)**

タチバナをはじめとした香料植物商品を開発し、流通整備と新規マーケット開拓によって、戸田地域の振興につなげる。

連携参加者 **岐阜薬科大学、戸田美農里委員会、(株)ほんやら堂、(株)ニチリン**

タチバナおよび伊豆の香料植物(和ハーブ)の学術的研究・エビデンスの提供、各商品試験開発・製造の委託、現地農家との協力、レシピ開発等を行う。

サポート機関等 **(独)中小企業基盤整備機構関東本部、西武信用金庫**

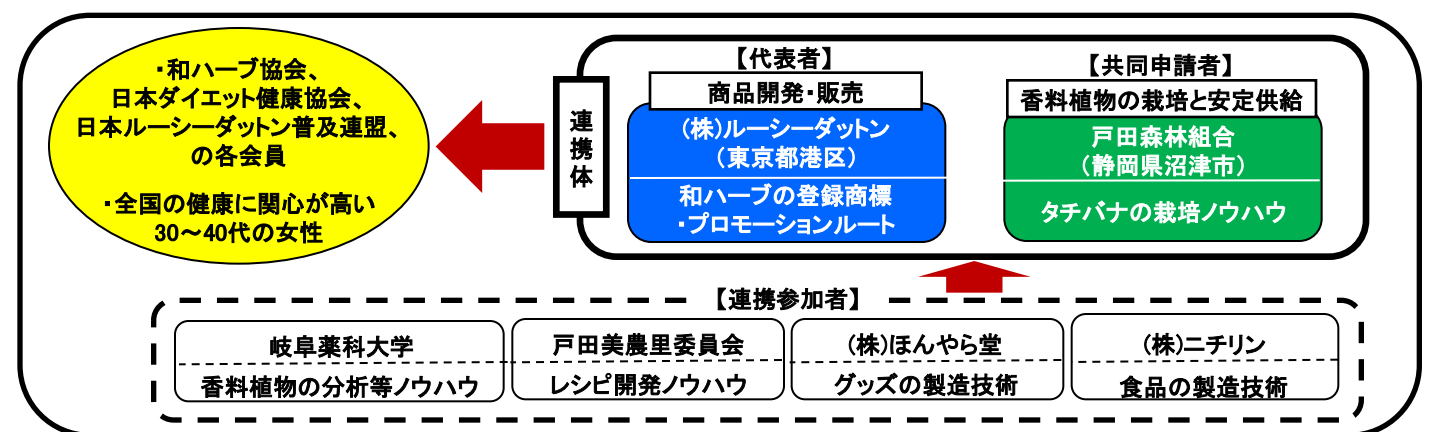
➤ 連携の経緯

全国各地の香料植物「和ハーブ」を題材に地域振興を手掛けるなか、伊豆半島のタチバナの存在を認知し現地調査の希望を持っていた(株)ルーシーダットンと、日本の柑橘類の原種である「タチバナ」の原生林を保有・管理をしており、タチバナを活用した外部との有機的な連携による地域振興の突破口を、長年にわたり模索していた戸田森林組合との意向が合致し、連携に至った。



➤ 連携に当たっての課題や工夫等

(株)ルーシーダットンは香料植物の商品開発・販売ノウハウ、またメディアや大学(岐阜薬科)等との連携力を十分に活かしながら、和ハーブティーや和ハーブ雑貨等の魅力的な商品を開発・販売する。特にタチバナは、破棄される葉と枝を活かす「柑橘系の実以外の活用」という新たな試みを行う。戸田森林組合は、長年にわたるタチバナの栽培とその加工、および熟知している地域森林資源の活用と栽培管理を行う。



➤ 連携による効果

農林漁業者 **5年で380万円の売上高増加、収益性の改善。**

タチバナを中心とした伊豆の香料植物(和ハーブ)栽培の拡大と品種の維持への取り組み、一次加工の設備とノウハウの充実が期待される。

中小企業者 **5年で1,350万円の売上高増加、収益性の改善。**

タチバナを中心とした伊豆の香料植物の全国市場へ向けた商品群開発と訴求により、売上増加と収益性改善が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名	: 株式会社ルーシーダットン	所在地	: 東京都港区麻布十番3-3-8 麻布共和ビル4F
TEL	: 03-6435-3860	FAX	: 03-6435-3861
E-mail	: info@rusiedutton.com	ホームページ	: http://www.rusiedutton.com/